シラバス参照

タイトル「**2023年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

科目ナンバー	SSCS4607		
科目名	競技スポーツ専門演習Ⅰ		
担当教員	上野　広治		
対象学年	3年	開講学期	前期
曜日・時限	水４		
講義室	1402	単位区分	選必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門科目		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ＤＰコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP4-F〔探究力・課題解決力〕問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オー プンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP3-G〔状況把握力・判断力〕自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。 DP3-H〔論理的思考力・批判的思考力〕理路整然とした思考を備えつつ、偏りを排除するための内省をもって、問題・課題を合理的に解決することができる。 DP4-I 〔理解力・分析力〕 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 DP5-J〔創造的挑戦力・達成力〕コンピテンスの開発を生涯にわたり継続して行うことを、自らの思考及び行動のパターンとするとともに、既存のアイデアを革新的かつ創造的に統合し、リスクをとりながら、結果に結び付けることができる。 DP8-M〔省察力〕知識と経験とを関連付け学修成果を活用可能な状態に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。 ■ＣＲコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（ＣＲ）との関連 F1探究と論拠−20% G1状況把握-30% I2量的分析−20% I3情報分析-20% J2創造的思考-5% M1統合的・応用的学修-5%		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	■能力開発の目標ステージと対応 ３発展期～４定着期		
科目概要・キーワード	競技スポーツに関連する多様な実践知について、担当教員がオムニバス形式で様々な内容の授業を展開し、学生自身のこれまでの学びをより深化させることを目的とした授業を行います。スポーツ科学の中でも特に実践的な研究領域を専門としている教員が、それぞれの研究領域における先行研究や関連資料を基にして、研究の方法や示される結果の解釈について解説します。この授業は、3年次以降のより専門的な研究活動へつなげるための授業となっており、授業形態は演習形式で進行し、講義、グループワーク、プレゼンテーションを実施します。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するた		

<table>
<tr><td></td><td>めオンライン授業を一部取り入れる場合があります。
■キーワード ：スポーツ科学、実践知</td></tr>
<tr><td>授業の趣旨</td><td>■副題
スポーツ科学の様々な分野における実践的な研究に触れ、幅広くスポーツ科学についての学びを深めましょう。
■授業の目的
スポーツの現場をより意識した多様な分野の実践的研究に触れ、幅広い知識を身につけることにより、自身の競技力向上あるいは競技力向上のサポートにつながる研究を取り上げ、これまでの学びをより深化させることを目的とします。
■授業のポイント
スポーツ科学の中でも特に実践的な研究領域を専門としている教員が、それぞれの研究領域における先行研究や関連資料を基にして、研究の方法や示される結果について解説することで、スポーツの現場をより意識した様々な研究に触れることを目指します。さらには３年次以降の専門的な研究活動へつなげるため、自身の競技力向上あるいは競技力向上のサポートにつながる幅広い知識の獲得を目指し学修します。</td></tr>
<tr><td>総合到達目標</td><td>■様々な分野の実践的な研究に触れ、幅広い知識を身につけることができる。また自身の競技力向上、あるいは競技力向上のサポートにつながる実践的な研究方法について説明できる能力を修得する。
・様々な分野の先行研究や関連資料などから、研究の概要やその方法について説明することができる。（第1、4、7、10、13回）
・自身の競技力向上につながる実践的研究について理解し、説明することができる。（第2、5、8、11、14回）
・プレゼンテーション等を通して、自身の研究について説明することができる。（第3、6、9、12、15回）
・実践的研究について議論を通してコミュニケートすることができる。（第3、6、9、12、15回）</td></tr>
<tr><td>成績評価方法</td><td>■プレゼンテーション等（70%） 適用ルーブリック F1 I2 I3 J2
（評価の観点）様々な分野における実践的な研究方法を理解できているかどうかを確認します。
（フィードバック方法）教員が確認をし、それぞれに対してフィードバックします。
■授業参加度（30%） 適用ルーブリック G1 J2 M1
（評価の観点）研究活動への取り組みやレポート等、また学生間の反省的議論などを総合的に評価します。
（フィードバック方法）毎授業後に講評を行います。</td></tr>
<tr><td>履修条件</td><td>特にありません。</td></tr>
<tr><td>履修上の注意点</td><td>特にありません。</td></tr>
<tr><td>授業内容</td><td>
<table>
<tr><th>回</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>1</td><td>①授業テーマ　実践研究①ー１
②授業概要　授業の進め方について説明を行い、研究の概要やその方法について理解し、先行研究や関連資料を基に実践的研究を学修するための準備をする。（F1、M1）
③予習（120分）　シラバスを読み、授業の流れについて確認しておく。また自身が考える研究とはどのようなものであるか整理しておく。
④復習（120分）　説明された研究内容について再度確認し、どのような研究を行うか振り返りを行う。</td></tr>
<tr><td>2</td><td>①授業テーマ　実践研究①ー２
②授業概要　スポーツ実践の現場を意識した、実践的研究を行う。（G1、I2、I3）
③予習（120分）　自身が実践する研究の方法について手順などを確認しておく。
④復習（120分）　実践的研究で得られた結果についてまとめておく。</td></tr>
<tr><td>3</td><td>①授業テーマ　実践研究①ー３
②授業概要　収集したデータを分析し、プレゼンテーションなどによって説明することができるようになる。（F1、G1、I2、I3、J2）
③予習（120分）　前回授業で行った実践的研究によって得られたデータをまとめておく。
④復習（120分）　実践研究①で行った研究内容について振り返りを行う。</td></tr>
<tr><td>4</td><td>①授業テーマ　実践研究②ー１
②授業概要　授業の進め方について説明を行い、研究の概要やその方法について理解し、先行研究や関連資料を基に実践的研究を学修するための準備をする。（F1、M1）
③予習（120分）　シラバスを読み、授業の流れについて確認しておく。</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

		④復習（120分）　説明された研究内容について再度確認し、どのような研究を行うか振り返りを行う。
	5	①授業テーマ　実践研究②ー２ ②授業概要　スポーツ実践の現場を意識した、実践的研究を行う。（G1、I2、I3） ③予習（120分）　自身が実践する研究の方法について手順などを確認しておく。 ④復習（120分）　実践的研究で得られた結果についてまとめておく。
	6	①授業テーマ　実践研究②ー３ ②授業概要　収集したデータを分析し、プレゼンテーションなどによって説明することができるようになる。（F1、G1、I2、I3、J2） ③予習（120分）　前回授業で行った実践的研究によって得られたデータをまとめておく。 ④復習（120分）　実践研究②で行った研究内容について振り返りを行う。
	7	①授業テーマ　実践研究③ー１ ②授業概要　授業の進め方について説明を行い、研究の概要やその方法について理解し、先行研究や関連資料を基に実践的研究を学修するための準備をする。（F1、M1） ③予習（120分）　シラバスを読み、授業の流れについて確認しておく。 ④復習（120分）　説明された研究内容について再度確認し、どのような研究を行うか振り返りを行う。
	8	①授業テーマ　実践研究③ー２ ②授業概要　スポーツ実践の現場を意識した、実践的研究を行う。（G1、I2、I3） ③予習（120分）　自身が実践する研究の方法について手順などを確認しておく。 ④復習（120分）　実践的研究で得られた結果についてまとめておく。
	9	①授業テーマ　実践研究③ー３ ②授業概要　収集したデータを分析し、プレゼンテーションなどによって説明することができるようになる。（F1、G1、I2、I3、J2） ③予習（120分）　前回授業で行った実践的研究によって得られたデータをまとめておく。 ④復習（120分）　実践研究③で行った研究内容について振り返りを行う。
	10	①授業テーマ　実践研究④ー１ ②授業概要　授業の進め方について説明を行い、研究の概要やその方法について理解し、先行研究や関連資料を基に実践的研究を学修するための準備をする。（F1、M1） ③予習（120分）　シラバスを読み、授業の流れについて確認しておく。 ④復習（120分）　説明された研究内容について再度確認し、どのような研究を行うか振り返りを行う。
	11	①授業テーマ　実践研究④ー２ ②授業概要　スポーツ実践の現場を意識した、実践的研究を行う。（G1、I2、I3） ③予習（120分）　自身が実践する研究の方法について手順などを確認しておく。 ④復習（120分）　実践的研究で得られた結果についてまとめておく。
	12	①授業テーマ　実践研究④ー３ ②授業概要　収集したデータを分析し、プレゼンテーションなどによって説明することができるようになる。（F1、G1、I2、I3、J2） ③予習（120分）　前回授業で行った実践的研究によって得られたデータをまとめておく。 ④復習（120分）　実践研究④で行った研究内容について振り返りを行う。
	13	①授業テーマ　実践研究⑤ー１ ②授業概要　授業の進め方について説明を行い、研究の概要やその方法について理解し、先行研究や関連資料を基に実践的研究を学修するための準備をする。（F1、M1） ③予習（120分）　シラバスを読み、授業の流れについて確認しておく。 ④復習（120分）　説明された研究内容について再度確認し、どのような研究を行うか振り返りを行う。
	14	①授業テーマ　実践研究⑤ー２ ②授業概要　スポーツ実践の現場を意識した、実践的研究を行う。（G1、I2、I3） ③予習（120分）　自身が実践する研究の方法について手順などを確認しておく。 ④復習（120分）　実践的研究で得られた結果についてまとめておく。
	15	①授業テーマ　実践研究⑤ー３ ②授業概要　収集したデータを分析し、プレゼンテーションなどによって説明することができるようになる。（F1、G1、I2、I3、J2） ③予習（120分）　前回授業で行った実践的研究によって得られたデータをまとめてお

	く。 ④復習（120分）　実践研究⑤で行った研究内容について振り返りを行う。
関連科目	競技スポーツ専門演習Ⅱ（SSCS4608S）
教科書	
参考書・参考ＵＲＬ	
連絡先・オフィスアワー	■連絡先　開講時に告知する。 ■オフィスアワー　開講時に告知する。またそれ以外の時間については、メールにて事前にアポイントをとれば研究室で対応する。
研究比率	

戻る

Copyright (c) 2016 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.